

大化け株が出やすいのはどっち？ クイズ形式で儲かる人の「思考法」が身につく本

『一問一答！ 株の超入門ドリル』10/28 発売

株式会社高橋書店（本社：東京都豊島区、代表取締役：清水美成）は、2024年10月28日（月）に『一問一答！ 株の超入門ドリル』（著：天海源一郎）を全国の書店・オンラインストアで発売いたしました。



個人投資家が株で確実に儲けるためのクイズ形式の入門書

株の世界は弱肉強食。資金も少なく知識もない初心者が、あてずっぽうで投資しては、大事なお金を失いかねません。

本書では、株式評論家で投資歴 32 年の著者・天海源一郎氏が先生として登場し、ズブの素人である主人公にクイズ形式で株式投資の基本を指南します。

儲かる銘柄の見つけ方、売買のタイミングの見きわめ方や、儲かる投資家の考え方などの「株式投資の極意」を素人目線でやさしく鋭く学べる入門書です。



【当リリースに関するお問い合わせ先】株式会社 高橋書店 広報部

TEL : 03-5957-7061 FAX : 03-5957-7079

〒170-6014 東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 14F MAIL : k_koukoku@takahashishoten.co.jp

68 問のクイズで、「株の勝ち方」が楽しく身につく！

株式投資のルールは、初心者・ベテラン問わず「上がる銘柄を選び」「資金を投入し」「いいタイミングで売る」といったシンプル。つまり、「勝ち」への近道は株の知識・知恵を会得することです。

そこで、本書では著者の天海氏が**32 年間でつちかった投資の神髄**を詰め込みました。株に必要な知識を二択などのクイズ形式で紹介。「成長株と割安株、大きく儲かるのはどっち？」「この銘柄は買い？ 売り？」などクイズを楽しみながら市場、銘柄選び、売買のタイミングの見きわめ方などの株の知識が身につきます。

日経平均株価とTOPIXパフォーマンスはどう違う？

インデックス投資は、ベンチマーク(基準)となる指数と同等の変動を目標とする投資です。ベンチマークが上昇すれば安定した利益を期待できます。

ただし、日経平均株価、TOPIXはつねに上昇してきた指数とはいえません。1980年代末のバブル期にピークを迎えたあとは30年ほど低迷し、2024年ようやく高値を取り戻しています。インフレが続けば上昇が継続する可能性は高いのですが、下がる可能性もあります。

また、日経平均、TOPIXの変動にもやや違いがあります。たとえばのにもバブルと呼ばれた1990年代末や2021年以降は日経平均株価が相対的に高く、株価が低迷した2000年代はわずかにTOPIXが上回っています。この点から、相対的に考えると、つまり、**日経平均株価は、短期・中期、小売が株安のときに上がりやすい、TOPIXは長期・銀行・保険が好ましいときに上がりやすい**といえるでしょう。このようにインデックス投資にも盛りや下場のリスクは存在しています。「分散・安定」という過度な期待は避けることが大切です。

問題 06 成長株と割安株、大きく儲かるのはどっち？

A 安さ優先、オトクな割安株

B 子ども用じみ、大きく伸びる成長株

どちらも儲かりそうな気がして、迷うな

伸びしろが大きいのはどっちだと思う？

クイズで「株の儲け方」が楽しく身につく！

海外投資家もさまざまな注目は短期投資家の動向

ちょっと、この答えは早くないですか？

海外投資家も投資スタイルはさまざまです。企業の長期的な業績推移を予想して銘柄を選び、10年単位で保有する前提の「長期投資家」もいれば、そのときの相場の流れに乗じて売買を行い、利益を得る「短期投資家」もいます。

とどきとニュースで話題になる「モムイウ株主」は短期投資家が多いようです。彼らは、**企業の株式を一定数保有しているので、企業経営に影響力を持っています**。そして、経営層とのエンゲージメント(話し合い)によって増配や自社株買いをうながすことで、株価を上昇させて短期的に大きな利益を得ているのです。

長期投資家は通常目立った動きはありませんが、長期保有することによってその銘柄の株価の底支えになります。

海外投資家がつくるトレンドに乗るのが儲けの近道

平時時に**短期的な値上がり**の原因になるのは、**外国人短期投資家**です。膨大な資金で、東証の株価変動の要因となっている彼らの動向に注目し、「トレンドに乗る」ことが個人投資家の儲けの秘訣です。

東証で利益を狙う投資家たち

海外投資家
東証のインプライヤー。主にファンド形態で売買を行う。海外年金基金や政府ファンドのような長期投資家。ヘッジ・ファンドのような短期投資家も含まれる。基本戦略は明確。

金融機関
信託銀行として表される。とくに日本の年金資産の運用・管理を行う年金基金(年金積立資産運用法人(GPIF))は国内株式市場で約50兆円を運用する巨大な投資家。基本戦略は選り好み。

投資信託(ファンド)
国内の投資家による共同投資。アクティブ型とパッシブ型がある。新NISAで資金が流入。存在感が厚い。

事業法人
金融機関以外の事業会社(本業が別にある企業)による株の売買。自己資金を運用する企業もあるが、大部分は「自社株買い」。逆手は増強している。

イラスト&図解で、個人投資家の生き残り方がわかる

【本書の主な内容】

- 第1章 株式投資の基本と市場について
- 第2章 儲かる銘柄を見つけよう
- 第3章 株価が上下するワケ
- 第4章 売買のタイミングの見きわめ方

- 第5章 儲かる投資家の頭のなか
- 第6章 実践スタイルとリスク管理
- 巻末付録
- 株知識ゼロで読みはじめてしまった人のための基礎知識

【著者】天海源一郎(てんかい げんいちろう)

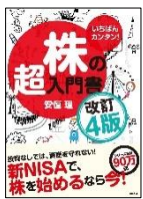
株式評論家・個人投資家。1968年大阪市生まれ。関西大学卒業後、ラジオ NIKKEI 入社。東京証券取引所記者クラブ記者、番組ディレクターなどを経て 2004 年独立。個人投資家に向けた執筆活動・動画出演・セミナー活動を各種メディアで行う。著書多数。2024 年現在、以下のメディアに連載、出演、寄稿を行う。

『タリフジ』(産経新聞社)、『週刊現代』(講談社)、『週刊 FRIDAY』(講談社)、『週刊 SPA!』(扶桑社)、『週刊エコノミスト』(毎日新聞出版)、『サンデー毎日』(毎日新聞出版)、『ダイヤモンド ZAI』(ダイヤモンド社)、『デイリー新潮』(新潮社)、『マネーサテライト』(松井証券)、『岡三ネットラジオ』(岡三証券グループ)、ほぼ日刊メルマガ「天海をつぶやき」発行中 (<https://www.tenkai.biz/>)。

【書誌情報】 書名『一問一答！ 株の超入門ドリル』

定価 1650 円(税込) ページ数 176 判型 A5 判 ISBN 978-4-471-21094-6

高橋書店の「超入門」シリーズ 累計 98 万部 好評発売中！



【当リリースに関するお問い合わせ先】 株式会社 高橋書店 広報部

TEL : 03-5957-7061 FAX : 03-5957-7079

〒170-6014 東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 14F MAIL : k_koukoku@takahashishoten.co.jp